

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

令和7年3月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員10名に対して、学習や余暇スペースを個別に仕切り、安心して過ごせる環境を作っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			支援時には、4～5名配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリーにはなっていないが、簡易式のスロープや手すりは用意している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			支援前やその都度職員間で話し合い、支援目的の共有を行っている。また、回覧用メモも用意し、漏らしが内容に工夫している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回、アンケートを実施し、意向把握に努めている。頂いた意見については、職員間で共有し、今後の事業所運営に活かしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は実施していないが、多職種や他事業所などと連携を図り、業務改善を図っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に内部研修を実施している。また、福祉関連のニュースなどがあれば、回覧もしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画を作成し、保護者面談を行っている。面談が難しい場合もあるが、送迎時や電話、メールなどを活用し、ニーズ把握に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			診断書や検査結果、通知表などを頂き、また、行動観察行い、アセスメントを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			常勤、非常勤を含め、意見交換を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎回個別のスケジュールを作成し、目標の達成度に合わせて、変化をつけている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日は、月1回ペースで行事を行い、他業種交流(生け花教室など)や町内会とのサロン活動を行った。長期休暇は、ご利用時間も長くなる為、放課後には行っていない活動などを組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別スケジュールで個々の目標や余暇、SSTプログラムを組み合わせ、個別活動と小集団、全体活動の充実を図っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			役割分担やプログラム、一人一人の関わり方の共通理解等を毎日確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			業務日誌を記入し、支援終了後や次の日の業務前に振り返りや今後の支援について話し合いを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日、業務日誌を記入し、打ち合わせ時や支援計画の作成時に活用している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に、モニタリングを行い、内容の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			施設内外の活動のバランスに配慮し、社会性を育てることを大きな共通課題としている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援事業所とは密に連携し、担当者会議には、管理者や主任指導員が参加している。養護学校や市内中学校などで行われている会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		連携を十分にとれている学校もあれば、そうではない場合もあり、当事業所が改善していかなければならない部分がある。学校教員を含めた担当者会議を実施している児童は、宿題内容や支援方法についての情報共有ができています。また、中学校教員の勉強会での講話依頼も頂いたため、当事業所における役割についてお話ししてきた。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在までに、受け入れの実績はないが、地域病院とは医療協定を結び協力していただいている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所や児童発達支援事業所と連携し、サービス開始前に、支援員が様子見学に行ったり、情報を共有している。また、今年度は一度だが、保育所から依頼があり、保育士さんの勉強会に助言者として参加している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			高等養護学校やハローワークと連携し、スムーズに移行できるように努めている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に市内の施設長会議が実施されている為、参加して情報共有したり、助言をいただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		町内行事活動や就労事業所の餅つき行事に参加し、交流を行った。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳やライン連絡、電話連絡、送迎時を利用して、情報を共有している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			日々の様子を共有する中で、保護者様の悩みや課題に寄り添うよう努めている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明し、制度改正時などは書面を配布するなどして、ご案内をしている。事業所にも掲示をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や連絡帳、ライン、電話、面談などでお話を聞き、支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を実施し、進学や就労についてや、子どもへの対応方法などの情報共有を行った。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			発生した際は、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応できるように責任者を配置し、体制整備をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、活動内容やお知らせ、調理メニューを記載した広報を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			データや個人情報は鍵付きキャビネットに保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもの行動の前後の様子や環境、特性から思いを汲み取るように努め、コミュニケーションカードの設置もしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年末に、クリスマスカードや日頃の活動で制作したものを町内の独居老人に配っている。町内会の餅つき行事に参加し、町内会長から「町内も子どもが減っており、参加してくれると有り難い」と言ってもらっている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定し、定期的に職員で確認し、事業所内でも提示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の訓練を行い、職員間ではマニュアルの確認を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止規定を作成し、職員へ周知するとともに、社内研修も実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束規定を策定し、職員へ周知している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書については保護者を介してもらっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成し、事故防止に努めている。